



# 令和8年度 府中市立府中第八中学校 学校経営計画

令和 8 年 4 月 1 日  
府中市立府中第八中学校  
校長 高 汐 康 浩

## 『教育目標』と『目指す生徒像』『目指す学校像』『目指す教師像』

『教育目標』  
すすんで学び 健やかに仲間と歩む やさしさのあふれる 生徒の育成 【令和7年度から新教育目標】

『目指す生徒像』  
①自他を大切に、心豊かでたくましく生き抜く生徒【持続可能な社会づくりに向け、自らを高め、多様性を尊重する態度や互いのよさを生かして協働する力（ダイバーシティ・インクルージョン）】（◎ ㊦ ㊧）  
②自主自立の精神を強くもつ生徒【自己実現】（㊦）【実践力】（㊧）

③礼儀（あいさつとことば）正しく思いやりのある生徒【リーダーシップやチームワーク、感性、優しさなどの人間性】（㊦）

『目指す学校像』

①生徒も教職員も「生命の尊さ」を深く理解し、安全で安心して生活できる学校

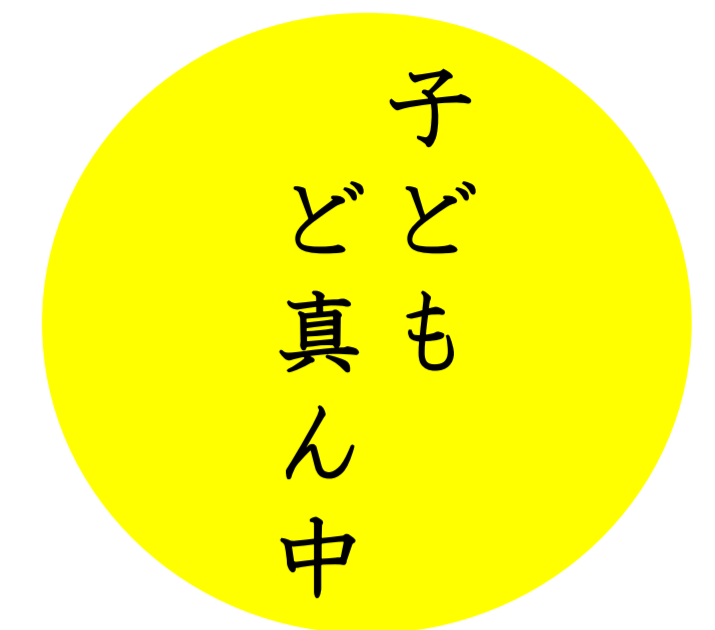
③生徒も教職員も将来の夢や目標の実現に向けて「いきいき」と活動できる学校

『目指す教師像』

①人権尊重を第一に生徒一人一人のよさを発見する眼、受けとめる心、語り合える言葉を大切にする教師

②生徒も教職員も「学ぶ喜び」を享受できる学校  
④伝統と創造を重んじ、生徒・保護者・地域・教職員が共に支え合う学校

②専門性、指導力を磨き合い、組織としての対応力を高め合う教師集団



## はぐくむべき資質・能力 重視する視点『発見すること』『対話すること』『決定すること』『表現すること』

社会生活における課題や問題を自ら**発見**し（㊦）、他者と協働（**対話**と**表現**）して解決しようとする態度（㊦）や新たな考えを創造し決めた（**決定**）ことを実行しようとする力（㊦）（アルファベットは目指す生徒像との関係を表す）

## 教育ビジョンと市教育委員会のキーワード「きづく」「つながる」「たかめる」との関連

《各教科等教育指導ビジョン》…【別紙】参照

《「きづく」「つながる」「たかめる」》

◇「きづく」  
【コンピテンシー】  
生徒も教職員も自らのコンピテンシーにきづく。  
【働く見方・考え方】  
知識と技能の習得により鍛えられた「見方・考え方」  
がさまざまな活動で確かに働くことにきづく。  
（例 防災（危機）の場面、学校行事の場面）

◇「つながる」  
【シナジー発揮】  
協働力を高めるために、府中版コミュニティ・スクールの機能を発揮させ、保護者を含めた地域と学校とが双方向でつながる。（例 カリキュラム・マネジメント、地域行事）  
【連携から関係へ】  
「新・府中八中学区スタンダード」をダイナミックに運用するために、小・中が「関係を基本」にしたつながりを構築する。

◇「たかめる」  
【レジリエンス獲得】  
自らの個性や能力を伸ばし、様々な困難を力強く乗り越え、人生を切り拓いていくことができるレジリエンスをたかめる。  
【ダイバーシティ・インクルージョン実現】  
他者への共感や思いやりをもち、多様な人々が共に生きる社会の実現に寄与できる資質や力をたかめる。  
【豊かな感性、創造力と表現力の向上】  
読書等読み物を読む活動を重点的に推進し、思考を豊かにすることで感性、創造力、表現力をたかめる。

## 本校の現状と教育活動実践課題

（学習面）・全国調査の質問において「国語、数学の授業はよく分かりますか」について生徒の肯定的回答の割合が全国、都、市を上回った。

- ・学習や生活に目標をもって取り組んでいる生徒の割合……………89%
- ・防災に関する学習に意欲的に取り組んでいる生徒の割合……………78%
- ・道徳の授業にしっかりと取り組んでいる生徒の割合……………98%

（生活面）・学級の活動、学校行事に進んで取り組んでいる生徒の割合……………94%

- ・交通ルール、社会のルール、学校生活の決まりを守っている生徒の割合……………98%
- ・友達などに思いやりの気持ちをもって接している生徒の割合……………98%

課題・・・「デジタル機器の教具的発想からの脱却」と「質の高い探究的な学びを支えるデジタル機器の**フル活用**」

課題解決に向けた重点・・・「個別最適化指導・支援の推進」「デジタル技術の適正な活用能力の向上」

【E-SATJ YEAR3 本試験分布】上位（AとBの割合）が82%以上であり都全体の上位の割合を5.5ポイント上回った。

デジタル技術のフル活用により、生徒の英会話へのハードルを限りなく下げた結果であると分析している。



府中市立府中第八中学校				東京都全体			
ESAT-J GRADE	人数	割合	累積値	割合	人数	割合	累積値
A	113	51.6%	113	51.6%	32,415	47.6%	32,415
B	67	30.6%	180	82.2%	19,755	29.0%	52,170
C	22	10.0%	202	92.2%	8,960	13.2%	61,130
D	9	4.1%	211	96.3%	3,934	5.8%	65,064
E	7	3.2%	218	99.5%	2,650	3.9%	67,714
F	1	0.5%	219	100.0%	314	0.5%	68,028
合計	219	100.0%	219	100.0%	68,028	100.0%	68,028

領域	中期経営目標	短期経営目標	努力事項（スクール・コミュニティ協議会決定事項）・ミッション	評価指標等
健全育成	・生命尊重の精神の育成を基盤とした生徒の <b>自己実現力</b> （自己指導能力）を高める生徒指導の実践 ・高い人権感覚、豊かな心を培う教育活動の実践	・一人一人の生徒の行動特性や <b>コンピテンシー</b> などあらゆる多くの情報を基礎にした教育活動、生徒指導の実現 ・学校を主体とし、家庭や地域社会及び関係機関等との連携・協力を密にした戦略的教育活動、生徒指導の実現	●4つの資質・能力『発見』『対話』『決定』『表現』がさまざまな場面で発揮できる教育活動の推進 ●保護者、地域、関係機関と協働した、生徒の <b>感性</b> や <b>人権感覚</b> 向上をねらった戦略的取組の実施 ●アセスメント力を十分に発揮した <b>協働的生徒指導力</b> と <b>組織対応力</b> の強化	・教職員による整備整美活動、校内巡回、ころろの健康観察（毎日） ・いじめ防止アンケート（学期1回） ・学校を起因とする解決困難な特別指導件数0件の達成 ・教職員向け生徒指導資料の配布と事例研究及び指導（月2回） ・教育活動アンケート肯定的回答90%以上
特別支援	・個別最適化と共生社会を目指す <b>ダイバーシティ・インクルージョン</b> の実現 ・障害に対する教職員の専門性を高め、生徒の可能性を最大限に伸ばす教育活動の実践	・一人一人の生徒の教育的ニーズを把握し、多様な学びの場と指導、支援（ <b>ユニバーサルデザイン</b> 等）の充実を行う。 ・障害の有無に関わらない交流、共同学習の場の設定と教育活動を推進する。	● <b>すべての人に特別支援教育が必要</b> であると捉えたインクルーシブ教育の推進 ●教員の特別支援学校教員免許状取得意欲向上と支援 ●個別最適化指導、支援の推進 ●合理的配慮の推進 ●地域の教育力の最大限の活用	・特別支援教育校内委員会（週1回）、不登校対策校内委員会（週1回）の実施 ・COCOLOプラン（※）の推進…子ども食堂、保育園等外部機関と連携した不登校生徒への個別最適支援 ・特別支援学校との協働による校内研究主題の実現状況「個別最適な特別支援教育」の確認 ・ダイバーシティ・インクルージョンに関する研修の実施（学期1回） ・継続支援の必要なケースに対応した面談の実施（月1回） ・教育活動アンケート肯定的回答85%以上
健康・安全・体力づくり	・基本的生活習慣を改善・定着させ、運動・スポーツに親しむ元気な生徒を育成する取組の実践 ・ <b>安全文化</b> の啓発と主体的に地域の安全文化の構築に貢献できる生徒を育てる安全教育の実践	・面談等を活用した個に応じた健康教育を推進する。 ・部活動の取組を通じたスポーツや芸術、文化に親しむ取組を推進する。  ・生徒会（生活委員会、保健委員会等）、部活動リーダーを中心に健康・安全への意識向上を実現する取組を推進する。 ・地域等と連携した安全、防災に対する取組を推進する。	●健康教育の充実に向けた健康教育からのアプローチの継続 ●青少年、PTA、校区小学校等と <b>協働</b> した取組の継続実施  ● <b>生命（いのち）の安全教育</b> の推進 ● <b>実効的な学校安全（安全教育、安全管理、組織活動）</b> の継続 ●校区小学校、地域と連携した防災教育の継続 ●生徒、教職員の安全行動能力の向上 ●学校経営支援部のインシアティブによる文部科学省作成の安全点検表を活用した定期的な安全点検による徹底した安全管理の実施	・生徒の記述（日記等）（毎日） ・新体力テストの記録全国平均値以上（特に投げる力） ・部活動加入率の向上（90%以上） ・教育活動アンケート肯定的回答85%以上  ・保健委員会主催健康・安全イベントの継続実施 ・部活動リーダー熱中症・ファーストエイド等訓練の検討 ・連携校、関係機関等と連携した取組（年5回） ・教育活動アンケート肯定的回答80%以上
保護の連携	・地域、関係機関等の人的、物的資源等外部資源を積極的に活用した学校主体の教育活動、研究活動、マネジメントの実践 ・ <b>ふるさと府中</b> を愛する心を醸成し持ち続ける取組の実践	・スクール・コミュニティ事業を推進し、重点的にははぐくむ8項目の実現に向けた取組を行う。 ・地域の人材・環境・施設等の有効活用を推進する。	●地域コーディネーターの学習支援面での活用の継続 ●すべての教育活動で「 <b>子どもと真ん中</b> 」にした活動を継続 ●すべての教育活動で「 <b>生徒、保護者の期待を上回る</b> 」対応、活動を継続	・教育活動アンケート（年2回） ・学校だより日本語版、英語版による発信（月2回） ・スクール・コミュニティ協議会（定例） ・地域懇談会（年1回） ・青少年への参加（定例）
教育特色	・オリンピック・パラリンピック教育の成果の活用と共生・共担社会と持続可能な社会の実現に向けた「 <b>未来へつなぐ府中2020レガシー</b> 」の取組の実践 ・多様な表現活動とあわせて、芸術文化のよさを発信できる生徒を育てる芸術教育の実践	・ふるさと府中で活躍する人材、ボランティアマインド、和太鼓、豊かな国際感覚を重点的に育成する取組を推進する。  ・合唱指導の充実を図り、生徒の <b>感性</b> を高める取組を推進する。	●日本人としての誇りをもたせる活動の推進 ●手話に関する取組の実施とインクルージョンの実現を担う人材を育成 ●「キャリア・パスポート」の活用とふるさと府中で活躍する人材育成  ● <b>芸術活動と体育的活動をバランスよく行うことによる生徒の感性を高める活動の継続</b>	・地域愛、家族愛をテーマとした講演会等の実施（年1回） ・道徳教育推進教師の活用 ・教育活動アンケート肯定的回答80%以上  ・音楽祭（学校行事）の新設と取組の振り返り ・教育活動アンケート肯定的回答80%以上
働き方改革	・教職員の心身の健康の増進 ・教職員としての誇りやりがいをもって職務に専念できる環境の整備 ・学校の教育活動の質の向上	・副校長等校務改善支援事業の活用及び効果的実践 ・学校経営支援事業による専門スタッフの活用及び効果的実践 ・地域 <b>コーディネーターの活用</b> と効果的実践	●教職員の自己管理能力の向上 ●デジタル機器の効果的活用による業務改善の推進	・教職員の過当たりの在校時間の縮小（60時間未満） ・学校行事、学習支援事業、各種検定における地域コーディネーターのコーディネーション実施
服務規律	・服務規律の徹底 ・服務の厳正 ・適正な教育課程の確実な実施	・非遵行為による服務事故0の継続 ・教育公務員としての不適切な言動0の継続 ・教育公務員としてのプロトコルの理解と実践	●自校、他校の <b>ヒヤリハット事案の共有</b> と危機管理意識向上 ● <b>教職員同士の日常的な声掛け</b> の実施 ●非遵行為による <b>服務事故0の継続</b> ● <b>服務事故非遵行為防止研修の連続実施</b>	・学校の自己評価該当項目肯定的回答100% ・職員朝会等での校長、副校長作成資料を活用した特設研修を実施（学期始め、学期末） ・職員朝会等を活用した日常的研修の実施（特設研修後1週間） ・市内ヒヤリハット事案を活用した研修の実施（事業発生後すぐに） ・教職員向け校長通信、副校長通信（「知っておくと便利」）を4月は5回、以降月2回以上発行し非遵行為に対する意識を高めるための研修実施

★キーワードとした文言に下線を引きました。 ※COCOLOプラン…文部科学省COCOLOプラン【Comfortable, Customized and Optimized Locations of learning】